

令和2年度 特色ある道徳教育推進校（心の教育推進キャンペーン実施校）
県立船橋古和釜高等学校

研究主題

道徳教育を通じて、自己肯定感を高める

取組1 「道徳」を学ぶ時間の指導の工夫

工夫1 映像教材の活用



映像の方が関心をもたせやすく、理解しやすいのではないかと？

○ICT機器を活用し、映像教材の視聴を中心に授業を展開した。

○場面によって画面を停止し、発問の際に活用した。

工夫2 話し合いの工夫

話し合いの進め方

- それぞれの考えを出し合う。
- 意見交換をする。
- 発表をする。

急にグループにしても話し合いが上手くいかないため、話し合いの手順を明確にして、意見交換を円滑にする工夫をした。

①「自分の考え」をまとめる（ワークシートに記入）

意見を出し合うためのワークシートの準備をきちんとさせる。

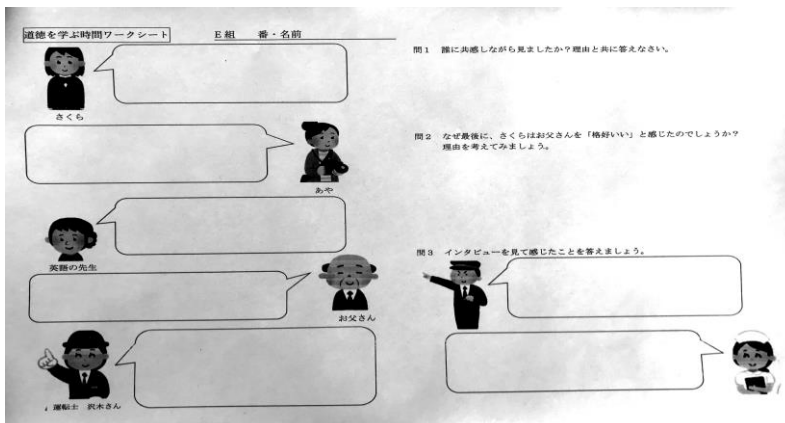
②ペアやグループでの意見交換をする。

誰とペアを組むかにより、意見交換の度合いは変わることから、席順の配慮をする等できるだけ話しやすい環境を整えた。

③思考を促す声掛けをする。

机間指導をし、場合によっては話し合いの場面に参加して、意見交換がしやすい状況をつくる。

工夫3 ワークシートの工夫



○内容をなぞりながら、自分の意見を構築できるように、登場人物に注目しながら記録を取れるようにした。

○人物横の吹き出しには、登場人物のせりふで印象に残ったところをそのまま書かせた。

○考えた意見は自由にメモするよう促した。

○発問は絞って、中心となる発問についてじっくり考える時間を設けた。

※裏面は、本時の感想や自由な意見が記載できるよう工夫した。

取組 2 学校教育全体を通じた道徳教育の充実

本校で今年度実施した「道徳」を学ぶ時間について

- (1) 読み物教材「明日への扉Ⅱ」 単元[9]「ピカピカのトイレ」の活用
「社会の一員として生きること」について考える。
- (2) 読み物教材「明日への扉Ⅱ」 単元[10]「ディスレクシアを生きる」
「挑戦すること」について考える。
- (3) 映像教材「チャンスは自分の中にある」の活用
映像教材により、「国際交流」について考える。
- (4) ソーシャルスキルトレーニングの実践
他者との関わりについて考えさせ、良好な人間関係の形成について考える機会としている。
- (5) 公共のマナーについて考え、議論する道徳の実践
年間8回のマナー指導を通して、交通ルールや、身だしなみ、言葉遣い等、公共の場での振る舞いについて考える機会を設けている。

以上の取組みを通して、学校教育目標である「自立した社会人および人格の完成」を目指し、総合的な探究の時間や特別活動の時間を使って道徳教育を推進している。

例)

学び直し



「キャリアベーシック」の授業で、中学校までの内容を学び直している。

例)

人権講話



講師を招いて、「SNSのマナー」について考えた。

例)

就業体験



地域の企業や、商店に協力を得ながら、就業体験を行った。

例)

地域のゴミ拾い清掃



地域連携の取り組みとして、松が丘地区の商店街を中心に清掃活動を行った。

主な成果と課題

- 自立した社会人を目指す中で、コミュニケーションの能力育成に役立った。
- コミュニケーションを通して、自己について考える機会を更に増やし、自己肯定感をもたせることにつなげたい。

授業実践事例

高等学校 第1学年 「道徳」を学ぶ時間指導案

1 主題名

「働くことについて考える」 (県の視点「支え合う喜び」「かけがえのない自分」)

2 教材名

道徳教育映像教材「支える人になりたい」(千葉県教育委員会)

3 ねらい

映像教材を通して、「働くこと」について考えさせる。世の中で働く人の存在に触れ、自分の将来について考えさせたい。

4 主題設定の理由

高等学校段階の生徒は、自らの将来について夢や希望を抱いたり、あるいは悩んだりしながら、将来の夢や職業について考える必要がある。

今回の道徳を学ぶ時間では、働くとはどういうことかを考えさせ、働くことの意味に気付かせたい。

本教材「支える人になりたい」は、高校生のさくらが、身近な人の働く姿を見て、自分の将来について考えるという内容である。さくらは、働くことについて、自分のためというだけではなく、周りの人のために働くという視点到に気付く。生徒達にも、何のために自分は働くかについて考えさせたい。

5 展開

課程	学習活動と主たる発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 (5)	1 「あなたは、将来何のために働きますか」	<ul style="list-style-type: none"> • お金のため • 生活するため 	時間を掛けすぎない。
展開 (40)	<p>2 「支える人になりたい」(映像編)を視聴する(18分)。その際、ワークシートに登場人物についてのメモを取りながら見る。</p> <p>3 それぞれの登場人物について、読み取ったことを確認する。「誰に共感しながら見ましたか。理由と共に答えて下さい。」</p> <p>4 「さくらは最後になぜ、お父さんを格好いいと思ったのか理由を考え、答えなさい。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • さくら 将来について決まっていない、自分に近い。 • 沢木さん 地元の役に立ちたいという考えが良いと思った。 • お客さん一人一人のことを考えて仕事をしているから。 	<ul style="list-style-type: none"> • 視聴する前に、「登場人物が『働くこと』についてどんな考えを持っているか」に注目して視聴するように声掛けする。 • 「共感」について補足する。自分に近いとか、考えが素晴らしいと感じたなど。 • お父さんとお客さんの関係について着目させる。 • お客様ノートには、どのようなことが書かれていたか想像させる。

	5 「支える人になりたい」(資料編)を視聴する。(9分)		
	6 いすみ鉄道の武石さんと、看護師を目指す平田さんについて考えたことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道が好きで、いすみ鉄道のために働く姿が格好いい。 ・高校生なのに、看護の現場で働くことをすでに学んでいてすごいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が将来働く姿を想像した上で考えるよう促す。
まとめ (5)	1 本時の感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人のために働くという考えに気付けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「働くこと」について考える中で、新たに発見した考えがあれば、特に書くよう促す。

6 他の教育活動との関連

高校生として、将来を見据えて生きる態度に結びつけたい。

総合的な探究の時間において、進路学習を進めている。進路を検討する中で、自分なりの「働くことの意味」についても考え、今回の学習を関連付けさせたい。就職した卒業生の多くが早期離職をしている現実があり、待遇に飛びつくだけではなく、やりがいのある仕事を見つけられるようにさせたい。

部活動で取り組む、やりぬく力をもつことに関連させたい。退部した経験から、活動するために活動するのかを考え、目標をもち、努力を重ねる。

7

(1)

話し合いの進め方

働くことについて考える

◎将来なぜ働くのか？

- ・生活するため
- ・お金を稼ぐため

◎さくらはなぜお父さんを「格好いい」と感じたのか？

- ・お客さんのために頑張っている姿に気付いたから。
- ・熱意をもって仕事をしていると思ったから。

◎発見したこと

- ・やりがいのある仕事を見つけたい。
- ・働くに当たっては、職場の環境も慎重に見極めたい。

(2) 生徒の様子

社会に出て働くことについては、多くの生徒が関心をもっている。そのイメージは、「大変そう」「自分には出来るだろうかと不安」「どんな仕事が自分に合っているだろうか」など様々である。

そういう中で、映像教材「支える人になりたい」はとても分かりやすい内容だった。進路に悩む主人公に自分を重ねる者がいたし、女性の鉄道員を格好いいと思う者もいた。社会で働く様々な職業の人に自分を当てはめ、将来の自分の姿を想像したようだった。